

令和4年度第2回秦野市社会教育委員会 会議録(要点筆記)

- 1 日 時 令和4年10月26日(水) 午前10時から正午まで
- 2 場 所 秦野市役所教育庁舎3階大会議室
- 3 出席者
 - (1) 社会教育委員
横山潔、田中健嗣、竹内房枝、渡邊明美、川口富治、浜野則彦、
高橋弘子、藤木玲子、逢坂伸一、山口徳造、奈良利代子、渡邊哲幹
欠席：竹尾信行 (全13名中12名出席)
 - (2) 市
佐藤教育長、宇佐美文化スポーツ部長、水島生涯学習課長、山本図書館
長、長島こども育成課長
[事務局]石原生涯学習担当課長代理、松永生涯学習担当主事
- 4 会議の概要

(1) 開会、資料確認

事務局より、新型コロナウイルスの対策として窓の開放、効率的な会議の実施をアナウンス。

また、教育長は本日他の公務のため、あいさつは会議冒頭ではなく終盤にていただく旨、報告した。

(2) 会議成立報告

事務局より、竹尾委員の欠席を報告。社会教育委員13名中12名が出席しており、秦野市社会教育委員会規則第4条の規定(半数以上の出席)により会議が成立したこと、また本日の会議に傍聴者がいない旨の報告。

(3) 逢坂議長あいさつ

本日は、スムーズな会議進行に心掛けたい。

昨年は、神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会<秦野市大会>の開催に向け、委員の皆様には何度もお集まりいただいたことに感謝したい。今振り返ると、「社会教育とは何であるか」を振り返る良い機会であったと感じている。

年に2回発行されている「社教情報」という冊子には、熱心に活動されている全国の社会教育委員の活動を見ることができる。やはり、多くは教育委員会からの諮問に対して、社会教育委員会が答申をする形がメインであった。

本日は報告事項が多数あるが、丁寧に伺い、それぞれについて御意見を頂戴したい。

(4) その他

以降の議事を、逢坂議長が進行することとなる。

(5) 議題

議題（１）については、次第４ 情報提供・参考資料終了後に時間を設け、協議したい。その際、所管課以外の課長には退席いただく形を取りたいと思うので、御了承いただきたい。

(6) 情報提供・参考資料

資料 1～2 により、生涯学習課長から情報提供(1～2)を説明。

ア (1) 第13回秦野市親子川柳大会の入賞作品について

イ (2) 公民館における夏休み期間の学習室開放の結果について

[質疑応答・意見等]

<浜野委員>

資料2について、延べ人数はどのようか。

(生涯学習課長)

資料2に記載のある人数を足し合わせた271名となっている。

<藤木委員>

鶴巻公民館は子どもたちを教える大学生のサポートが付いたようだが、他の公民館にはそうしたサポートをする人はいないのか。

(生涯学習課長)

大根公民館については、従来より広畑ふれあいプラザでボランティアとして活動している東海大学生にサポートいただいている。今年度については、東海大学から近い大根・鶴巻公民館にて協力いただき、その他の館は図書館の自習室のようなイメージで御利用いただいている。

<竹内委員>

大根・鶴巻地区は比較的以前からこのような活動がされており、比較的定着している。どのような人が学習室を管理しているかということが明確にわかるようになると、他の地区でもこうした取組が増えるかもしれない。

《逢坂議長》

公民館の学習室の開放について、非常に良い取組であるが、形式的になりすぎない方がよい。近隣市では、公民館での宿泊活動の延長で、有

志による子ども教室をやっており、自由に集まって絵画や音楽などそれぞれのテーマを遊びながら学んでいる。

資料 3～6 により、生涯学習課長から情報提供(3～6)を説明。

- ウ (3) 企画展「鎌倉時代の秦野」について
- エ (4) 企画展「健康万歳！～秦野の医療・衛生のあゆみ～」について
- オ (5) 令和4年度 指定文化財特別公開について
- カ (6) 令和4年度第4回ミュージアムさくら塾
「富士山宝永噴火の被害と復興－秦野市域に残された史料を中心に－」について

[質疑応答・意見等]

<渡邊委員>

資料3について、今年度、秦野たばこ祭りが実施されたが、実朝まつりが中止となってしまったことが非常に残念。大河ドラマも盛り上がりを見せる中、規模縮小でも開催できたのではないかと思うが、行政も中止の判断に関わっているのか。

(生涯学習課長)

中止については実行委員会の決定。まつり自体は中止となったが、こうした企画展をはじめ、行政としてできる限り盛り上げていきたい。

資料 7～9 により、図書館長から情報提供(7～9)を説明。

- キ (7) 電子図書館の運営状況について
- ク (8) 第36回夕暮記念こども短歌大会の入賞作品について
- ケ (9) 秋の読書週間について

[質疑応答・意見等]

<高橋委員>

図書館の新しいキャラクターが11種類というのはとても多いように思うのだが、いかがか。

(図書館長)

子どもたちに興味を持ってもらえるよう、図書館の十進分類法に基づき、秦野にゆかりのあるものをモチーフにしてそれぞれのキャラクターを作成した。

資料 10 により、こども育成課長から情報提供(10)を説明。

コ (10) 表丹沢野外活動センター指定管理者の指定等について

[質疑応答・意見等]

《逢坂議長》

教育面での管理運営を徹底していただきたい。設立当時は学校が施設を活用する方法についても検討していた。これからも教育委員会との連携を強化していただきたい。

表丹沢野外活動センターに限らず、指定管理者制度はまだ不安が多い。例えば、静岡県立三ヶ日青年の家のカッターボート転覆事故も教育委員会の所管から指定管理者へ移行した直後に発生した。くれぐれも行政と指定管理者の密な連携をお願いしたい。

＜藤木委員＞

子どもの利用実態はどのようなか。

(こども育成課長)

コロナ禍でここ数年は難しいが、通常時は市内外問わず学生の宿泊学習の利用がある。

＜竹内委員＞

表丹沢野外活動センターは子ども会で毎年利用させていただいている。今まではとてもスムーズに打ち合わせをすることができ、利用者側の思いを汲み取っていただいていたが、今後も指導や助言をいただけるのか。

また、使用料については減免措置等あるのか。

(こども育成課長)

使用料については部屋単位の料金となる。これまで減免利用いただいていた団体については引き続き減免利用が可能である。

指定管理者は市内でキャンプ場を運営している団体であり、運営には精通している。

利用するうえで、指定管理者になってから質が下がったということがないように、最低でも月に1回は市と指定管理者間で打ち合わせの機会を設けることになっている。

(文化スポーツ部長)

指定管理者制度に移行したとしても、公共施設であることに変わりはない。現場に市の職員はいなくても施設を管理する所管課は存在するため、その所管課と指定管理者と定期的な会議や報告書のやり取り、相談

や指導といったことをする仕組みになっている。指定管理者の専門性を生かし、その施設にあった管理運営ができる制度であるので、御理解のほどよろしくお願ひしたい。

～10分間休憩（10：50～11：00）～

(7) 議題

資料1により、生涯学習課長から議題(1)を説明。

ア 議題(1) 社会教育委員会議会議録のホームページ公開について

《逢坂議長》

冒頭申し上げたとおり、情報提供いただいた各課等の長についてはここで退席とさせていただきます。

それでは議題について、生涯学習課長から説明をお願いしたい。

(生涯学習課長)

現在、社会教育委員会議の会議録は、事務局にて作成し、情報公開請求があった場合に公開することとしている。

前回会議終了後、会議録の市ホームページ上の公開について御協議いただき、「公開することを前提に、事務局と議長で相談のうえ案を作成し、次回会議で提案する。」となった。机上に配付したものが、前回の会議録となるので、御確認いただきたい。

ホームページ上に公開することについて承認が得られたら、今後は会議録を事務局が作成後、議長と議長が指名する1名の委員に会議録の内容を御確認いただく。その後、署名をいただき、ホームページ上に公開すると同時に、委員の皆様にも会議録を送付するという流れになる。

併せて、会議の開催案内についてもホームページ上に掲載することを提案させていただきます。

現在、会議の開催日程のみホームページ上に掲載しているが、今後は日程については会議開催の1か月前に、主な議題については1週間前に掲載することについて、お諮りさせていただきます。

《逢坂議長》

今年度の社会教育委員会議より、机上配付資料にまとめた会議の要旨をホームページに掲載することについて、委員の皆様にお諮りしたい。

<委員一同>

異議なし

≪逢坂議長≫

それでは、今年度の会議録より、ホームページ上に公開することとする。

また、会議録公開に際し必要となる議長と議長の指名する1名の委員の署名については、前回の会議録については、川口副議長、今回の会議については藤木副議長とし、次回以降は名簿順に指名させていただくこととする。御了承いただきたい。

併せて、本会議の開催案内の掲載について提案があったが、いかがか。

<委員一同>

異議なし

≪逢坂議長≫

それでは、以上2点について承認とさせていただく。

(8) その他

事務局より、その他資料の紹介（説明は省略）。

- ① 第27回全国報徳サミット相馬市大会
- ② 第7回はだの生涯学習講座「次世代交通システム「Zippar」の開発」
- ③ 秦野市議会第3回定例月会議報告について
- ④ ねんりんピックかながわ2022
- ⑤ 令和4年11月の開催行事等
- ⑥ 文化はだの第50号

(9) 教育長あいさつ

公務が重なり、あいさつが遅くなって申し訳なかった。本日は大変お忙しい中会議に御出席いただき感謝したい。

今朝の神奈川新聞には東中学校で行われた能楽体験の記事が掲載された。私自身現場に足を運び、生徒たちのアンケートが手元に届いたが、こうした素晴らしい自然環境の中で子どもたちが様々な体験をすることの大切さを改めて実感した。

教育委員会では教育振興基本計画に基づき、社会教育と学校教育の連携を目指している。本日の報告事項にもある親子川柳大会、夕暮記念こども

短歌大会は昨年よりも多くの募集があったが、素晴らしい事業であるため個人的にはもっと応募が増えてもいいと思っている。教育委員会で研究を進めているふるさと科を創設し、全ての児童生徒にこうした取組に1回は参加をしてもらい、秦野の良さを体感してもらいたいと考えている。

配付資料にあるとおり、全国報徳サミット相馬市大会が11月5日に開催される。私自身、福島県出身であるため相馬市には思い入れがあり、市長の登壇するパネルディスカッションも非常に楽しみにしている。昨年度はオンラインによる掛川市大会に参加させていただいたが、本年度は3年振りの会場開催ということで、社会教育委員からは5名、同時に開催する市民参加ツアー13名が参加されると聞いている。ぜひ会場にて報徳仕法に触れ、理解を深める機会としていただきたい。

最後に、3つ情報提供をさせていただく。まず、読書活動の推進について。先日参加させていただいた北公民館まつりにて、図書室で読書に励んでいる子どもたちを表彰する取組を知った。素晴らしい取り組みであり、市内に広がっていくと良いと感じた。今年度、読書活動の重点校としている本町小学校と南小学校では、図書館のマスコットキャラクター「よむよむ」を用いて「よむよむデー」を創設し、読書活動の推進に努めている。来年度は全校に「よむよむデー」や朝読書の推進をお願いしていきたい。

つづいて、部活動の地域移行について。国の流れを受け、令和7年度末までに休日の部活動を地域へ段階的に移行することが求められている。本日御出席いただいているスポーツ協会の浜野理事長にも御心配いただいております。地域とともにある学校づくりの中で段階的に移行できるよう、協議を開始させていただいている。これまで公務活動として学校が担っていた教育的意義を継承しながら、新たな形を検証していく中で一番大切にしていきたいことは、子どもたちが文化・スポーツに親しむ機会を確保すること。東海大学との連携、スポーツ協会との連携、地域学校協働活動の活用など多方面との連携を図りつつ、やりやすい形を模索しながら進めていく。

最後に中学校給食について。中学校給食開始前の生徒の接種塩分濃度は高かったが、給食開始後、劇的に改善された。地場産の野菜を中心とした献立は長寿にも良いとされ、引き続き教職員には負担をかけてしまうが、長い目で見ると子どもたちに非常にいい影響が出ることが期待できるため、今後とも御理解、御協力いただきたいと思います。

以上、3点の報告をさせていただいた。お時間いただき感謝したい。

(10) 閉会

《逢坂議長》

その他質問等なければ、これをもって閉会とさせていただきます。

長時間に渡り、ありがとうございました。

以上